

マンスリータイムズ

海南市立海南下津高等学校
3月号
平成26年3月24日発行



卒業式 3日(月)

第5回卒業証書授与式が海南市長 神出政巳様、海草振興局健康福祉部長 尾崎正明様、海南市議会議長 山部 弘様はじめ多くのご来賓の方々の出席を得て、挙行されました。柳校長先生からは、「真心を尽くすという生き方こそ、本校で学んだ皆さんに示して欲しい。そして、日々の生活の努力や工夫のなかに、味わい深い人生の喜びと幸せを感じて欲しい。自信と勇気を持って、明るく、力強く、胸を張って、これからの人生を歩んでください。」と卒業生に、はなむけの言葉が贈られました。生徒会長 京井魅優さんの先輩への感謝をつづった送辞に応え、卒業生を代表して、平野香織さんが、体育祭や文化祭、修学旅行やなどの思い出を語り答辞を述べました。卒業式後は、生徒会主催の「卒業生を送る会」が開催され、卒業生、在校生が一体となって「Best Friend」を歌い、海南下津高生としての絆を確かめました。卒業生は、保護者、在校生の拍手の中、学舎を巣立っていきました。

ご卒業おめでとうございます。皆さんの今後の活躍を心からお祈りします。

卒業生の思いがこもった答辞(抜粋)

私たちは今日卒業します。「卒業」を強く意識したのは三年になってからです。そして私は、今ここに立っていることが不思議なくらいです。でも、明日がたとえ晴れでも雨でも、私たちは新しい道へと踏み出してゆきます。

この海南下津高校での三年間は、とてもすばらしい日々でした。笑いが絶えない思い出ばかりです。毎日の電車、いつもの通学路、友達と話しながら校門をくぐると、笑顔で「おはよう」と挨拶してくれる先生方、階段を上がれば賑やかな教室、朝から元気いっぱい話しかけ、そして笑顔で教室に入ってくる担任の先生。そんな毎日を繰り返すのは今日で最後だなんて、未だに実感がわきません。

卒業式が近づいて来るにつれて、学校中が慌ただしくなってきました。小さな体育館が卒業式の舞台となって変わっていききました。今日のこの日のためにたくさんの方々が準備をしてくださいました。そう考えると、「卒業」という言葉が心にしみる気がします。

一、二年生の皆さん、悔いのない高校生活を送ってくださいね。高校生活はとても短いですが、風のように三年間が過ぎてしまうので、一つひとつを大切に過ごしてください。怖くてすくんでしまっている人には、思い切ってぶつかれと言いたいです。失敗はやり直せるし、壊れてしまってもまた作り直せばいいのです。皆さんにはそれができると思っています。

お父さん、お母さん、今までありがとうございました。家族の支えがあったからこそ今の私たちがあります。これからも何かと心配や迷惑をかけることもあると思いますが、よろしくお願いたします。

私たちはこれから新しい世界へ旅立っていきます。もう右も左も分からない子どもだといっただけのことではできません。この学校で教わったこと、かけがえのない友達、お世話になった先生、背中を押してくれる友達、それら全てが私に力を与えてくれます。だから大丈夫。まっすぐに顔を上げて、期待を胸に、私たちは海南下津高校を卒業します。

平成二十六年 三月三日 卒業生代表 平野香織

ようこそ先輩!

3月18日(火)、本校を卒業生した4名の先輩から、進学後の授業や学生生活の様子、就職後の仕事や社会生活についてお話しいただきました。大学・短大・専門学校における学習の意義や社会人としての勤労観や職業観を学び、自己の進路について考えるよい機会となりました。



1年生校外学習

3月20日(木)、校外学習として、1年生が県立自然博物館を訪問しました。

自然博物館には県内に住むたくさんの生物や標本が展示されています。博物館の裏側であるバックヤードの見学や学芸員さんから詳しい説明を受け、楽しみながら自然科学についての興味・関心を深めることができました。



4月の主な行事

- 4日(金) 離任式
- 7日(月) 新入生登校
- 8日(火) 新任式・始業式
- 9日(水) 入学式
- 16日(水) 防災訓練
- 23日(水) 一斉クラブ会
- 25日(金) 基礎力診断テスト(3年)